



住みたい・住み続けたいのは どんな府中市ですか？

あなたの意見を聞かせてください！

住みたい・住み続けたい府中市らしい豊かなライフスタイルの実現を目指し作成する「府中市住生活基本計画」の内容に対する皆さんの意見を募集します。さまざまな立場・視点から多くの意見をいただきたいので、どんな小さな意見でも大歓迎です。誰もが暮らしやすい、住んでよかったですと思える府中市について一緒に考えませんか？

素案の閲覧場所

▷市のホームページ ▷都市デザイン課 ▷上下支所

意見の提出方法 住所、名前、意見を記入して、持参または郵送、ファクス、電子メールのいずれかで提出してください。書式は問いません。

実施期間 2月20日(月)～3月20日(月)

問い合わせ先 都市デザイン課 (〒726-8601 府中市府川町315 府中市役所都市デザイン課 住宅政策係・☎43-7156、✉tj-pubcom@city.fuchu.hiroshima.jp)

◆住生活基本計画ってなに？

今、府中市が直面する課題は、若い世代や子育て世帯の流出、老朽化した市営住宅の最適化と住宅セーフティネット、空き家の増加による生活環境の悪化、エネルギーの浪費と災害に弱い住宅、生活圏の拡大による市街地の低密度化、住生活産業の市場縮小と担い手不足が挙げられます。この計画では、これらの課題を解決していくため、「居住者」「住宅ストック」「まちづくり・産業」の3

つの視点に分け、6つの目標を設定しました。これらの目標を実現し、安全・安心で魅力的な居住環境を提供するために、多様化するライフスタイルやライフステージに応じた、府中市ならではの豊かな暮らしの構築に向けて、「府中市に住みたい・住み続けたい」住まいや居住環境の創出を目指します。

◆住生活基本計画の目標 3つの視点から6つの目標を設定し、計画を推進していきます。

居住者からの視点	基本目標1	子育て世帯に選ばれる住まいの実現	結婚や子育てを契機に転出超過に転じている現状から、結婚・妊娠・出産・小学校入学を控えた若い子育て世帯の転出の防止に合わせ、市外で暮らす子育て世帯が市内へ転居し、豊かに暮らせる環境を実現します。
	基本目標2	市営住宅のあり方と住宅セーフティネット機能の整備	これまでの市営住宅のあり方を見直し、市が直面している課題に対応した市営住宅を整備するとともに、多様化する住宅確保要配慮者に対応した住宅セーフティネット機能の強化を目指します。
住宅ストックからの視点	基本目標3	空き家の適切な管理・除却・利活用の推進	空き家の発生抑制や適正管理などによる良好な居住環境を維持し、質の高い空き家については移住・定住や住み替えの場、また、地域コミュニティ活性化の場として活用することで、地域の生活環境の保全を図ります。
	基本目標4	脱炭素社会と災害に備えた良質な住宅ストックの形成	カーボンニュートラルの実現に向けて、環境に配慮した住宅や自然災害に強い住宅を供給することで、安全・安心に暮らし続けられる居住環境の形成を目指します。
まちづくり・産業からの視点	基本目標5	社会情勢の変化に対応したゆとりと魅力ある居住環境の創出	買い物、医療、公共交通機関など利便性が高い中心市街地や居住環境が整っている住宅団地など、各エリアの特色を生かしたまちづくりを進めることで、社会ニーズの変化や価値の多様性に対応したゆとりと魅力ある居住環境の創出を目指します。
	基本目標6	地域を支える住宅市場・住生活産業の振興	日常生活から災害時におけるインフラ確保や地域経済を支える裾野の広い住生活産業を保護し、担い手の育成を行うことで、多様なニーズに応えられる住生活産業の確立を目指します。